



1 神埼・三養基地区中学校総合体育大会結果！

女子バスケットボール	優勝
軟式野球	優勝
男子卓球(団体)	第2位
男子卓球(個人)	第2位
女子バレーボール	第2位
男子バレーボール	第3位
男子剣道(団体)	第5位

2 佐賀県吹奏楽大会の結果！

吹奏楽(Bパート)	銀賞
-----------	----

6・7月地区・県中総体や吹奏楽大会が開催期日を分けて、県内各地区で実施されました。どの部もこれまでの練習の成果を発揮して、最後まであきらめず精一杯力を尽くしてくれました。

すでにどの部活動も新チームで活動していますが、目標をもって充実した活動にしてほしいです。

3 「地域とともにある学校」を目指して

7月27日(木)に第1回の学校運営協議会を行いました。学校運営協議会は、地域・保護者代表が7名、教育委員会から1名、三田川小中学校の校長が2名の10名の委員で構成されています。他に、お世話と学校の説明のために中学校から3名が参加しました。

今回は1回目ということで、まずは、学校運営協議会とは何なのかという話をしました。地域との連携・協働により、対話と信頼に基づく学校運営を実現するために学校運営協議会があります。学校運営協議会委員が当事者意識をもち、子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てていくのか、何を実現していくのかという目標・ビジョンを共有するために熟議を重ねていきます。その後、共有した目標に向かって学校と地域が協働して活動していくこととなります。

次に令和5年度の三田川中学校の教育基本計画について説明をしました。

学校運営協議会の主な役割としては、以下に示しているものです。

○校長が作成する基本方針を承認すること

○学校運営について、教育委員会または校長に意見を述べるができること

○教職員の任用に関して、規則で定める事項について教育委員会に意見を述べるができること

子供たちが「学校って楽しいな」、「学校での毎日は充実しているな」、「学校で過ごしていると笑顔になるな」などと感じることができるよう、校訓『ゆたかに自律 たくましく自立』と『夢実現に挑戦し、努力する生徒の育成』の学校教育目標のもとに学校と地域が共に歩んでいきたいと考えております。保護者および地域の皆様は、「学校の応援団」である学校運営協議会について、ご理解とご協力をお願いします。

4 もうすぐ中学生！体験実施！

8月21日(月)に小学6年生対象の授業・部活動体験を実施しました。まずは、小学6年生が英語・社会・理科・音楽に分かれて中学校の授業を体験しました。



後半は、12の部活動に分かれて、それぞれの活動場所で見学や体験をしました。いろいろな雰囲気を感じ取ってくれたことと思います。暑い中でしたが、終わってからの集合では小学6年生の笑顔がたくさんありました。最後は、小学6年生と引率の先生方から「ありがとうございました」とお礼の言葉までいただきました。来年度、会えるのが楽しみです。



5 学習会を全学年で実施！

夏休み期間中の学習会を実施しました。3年生は、8月16日～18日。志望校合格に向けて学力向上を目指して取り組みました。1・2年生は、8月22日～24日。前期の期末テストに向けて成績UPをねらって取り組みました。どの学年も集中して目標をもってできていました。

(学習会の様子→)



6 さが未来発見塾 開塾中！

佐賀新聞社が協賛企業とともに、地域の未来を担う「人づくり」を応援するキャンペーン「さが未来発見塾」を開塾されています。吉野ヶ里町でも三田川中と東脊振中からメンバーを募ってワークショップが行われています。地域の実情と課題を学ぶ機会を提供し、自分たちが思い描く「未来計画」を策定していきます。そしてこの計画は、吉野ヶ里町長に提案することになっています。

町の人気コーヒー店・福山さん講話



吉野ヶ里町の塾生に講話をする福山さん(三田川中)



吉野ヶ里町の中学生が地域の将来を担う「人づくり」を応援するキャンペーン「さが未来発見塾」が19日、町中央公民館で開かれた。三田川中と東脊振中の2、3年生が、町内でコーヒー店を営む福山さん(36)から町の魅力や県内外から人呼び込むためのアイデアを聞き、地域全体を盛り込んだまちづくりについて考えた。

福山さんは2019年、コーヒーで地元を盛り上げようと、友人が大坂で経営するコーヒー店「兼松製所」OK COFFEEの佐賀店「SAGA ROASTER Y」を同市吉田に開業した。焙煎したコーヒー豆は大坂の3店舗でも提供。アーティストとのコラボレーションにも力を入れている。全国からファンが訪れる。

福山さんは、無料でコーヒーを配り、近隣の飲食店を回つてもらうイベントで1400人が集まったことを紹介した。「店だけでなく、エリア全体で盛り上がっていくため」と提案の狙いを話した。

(佐賀新聞 2023年8月23日付朝刊→)

吉野ヶ里町の中学生、アイデアに刺激

「そのためにも『意識や自然など、変わらざるに大切にしたい』と決めるのが大事」と断った。町内に大型焙煎工場を建設し、全国にコーヒー豆を届ける今後の計画も説明した。

佐賀新聞社の担当記者は講話で、町が移住や定住を促進し、企業誘致にも力を入れていることを説明。「統合庁舎の建設も計画され、新しくなる吉野ヶ里町で町民が暮らしやすくなるアイデアを考えてみて」と呼びかけた。

東脊振中3年の光畑優士さんは「福山さんは新しく印象的なアイデアをたくさん持っていた。自分も、今まで誰か持っていたようなアイデアを提案したい」と意欲を見せた。生徒たちは町の将来像を「未来計画」にまとめ、9月末に伊東健吾町長に提案する。(種口柳)

地域巻き込むまちづくりを